

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

2013 少林寺拳法世界大会 in Osaka, Japan



外国大使夫人招待
なぎなた演武交流会

2013 少林寺拳法世界大会 in Osaka, Japan



拳を交えて 世界と交流

2013 少林寺拳法世界大会 in Osaka, Japan が8月24日・25日に開催された。世界大会は4年ごとに開催されるが、インドネシアで開催予定だった前回大会がテロの影響で中止となったため、8年ぶりの開催となった。大会当日、会場である大阪府の大阪市中央体育館には世界22カ国から3000名の拳士が集結。「楽しい仲間とともに。世界の平和と福祉に貢献せんことを期す!」のテーマのもと、国を越えて友好を深め合った。

大会では、演武の得点によって順位を競い合う「競技の部」と、順位を競わない「発表の部」の2種目が実施された。1日目は競技の部の国内1次予選が行われた。

2日目、朝からの雨にもかかわらず、午前8時の開場に合わせて大阪中央体育館前には出場拳士や観客が行列をなしていた。

8時50分からは競技の部の国内2次予選が行われた。世界大会本戦出場場の切符を手にするための最終予選であるため、日本人拳士による気合の入った演武が繰り広げられ、早く

も会場は熱気に包まれた。

予選がすべて終了すると、いよいよ世界大会1ラウンドに移った。1ラウンドでは発表の部が行われた。親子、夫婦、7〜12歳、13〜15歳、男子マスターズ、女子マスターズ、

7〜12歳団体、13〜15歳団体の各部門の組演武・団体演武と、予選で行われた運用法の部の優秀組による運用法が、それぞれのコートに分かれて発表された。

出場者は皆、日頃の修練の成果を発揮した演武を披露し、順番を待つ拳士や観客からは拍手でそれを称え

発表の部

世界の出場者の演武



◀発表の部・親子の部に出場したカナダのシモン君（左はお父さんのパトリックさん）
「日本で演武するのは初めてです。少林寺拳法を始めて5年になります。お父さんは去年スタートしました。お父さんと世界大会で演武できて本当に面白かったです。少林寺拳法では、練習することが楽しいです。それから、いろいろな人と出会うのが面白いです」



た。順位を競わないということもあり、緊張感の中にも温かさのある雰囲気で行っていた。コートごとにすべての演武が終わると、出場者全員に優秀賞の賞状が贈られた。

1ラウンド終了後、オープニングイベントが行われた。拳士全員が整列する中、大阪府立今宮高等学校ダンス部によるダンスに始まり、各国旗入場、鎮魂行と続いた。そして、井上礼之^{のりゆき}大会会長が挨拶を述べた。

「世界中の仲間が集うこの機会に、各国で修練する拳士同士で技を競い合い、交流を楽しみ、懇親を深めてください。この大会を通じて、少林寺拳法の基本理念を今一度よく理解し、他人のために、私たち一人ひとりに何ができるのかを考える機会になれば幸いです」。

次に、少林寺拳法連盟公認デモンストレーションチームによる防具演武、家族演武、運用法、組演武が披露された。

引き続き、初めて出会う拳士同士が交流するための、少林寺拳法の動きを取り入れたエクササイズを全員で行った。2人組になり、ゆっくりと突く拳を、相手が両手で受け止め

競技の部

優勝組・団体演武



一般男子三段＝白樺・下山（日本）



一般男子二段＝金親・小森（日本）



一般男女有段＝シャブトラ・スリヤニ（インドネシア）



一般男子四段以上＝福家・麻田（日本）



一般女子三段以上＝稲川・畔蒜（日本）

いずれの国のペアも、磨き上げた技で、氣迫溢れる演武を披露していた。その中でもやはり、少林寺拳法発祥国で修業を積み、厳しい予選を勝ち抜いた日本のペアの演武は洗練されていた。また、外国チームの中では、インドネシア勢による、スピード感と力強さのある迫力の演武が

たり、優しく払ったりする動きを繰り返すうち、言葉の通じない国の拳士同士のペアからも、思わず笑みがこぼれていた。

オープニングイベントの後の世界大会2ラウンド以降は、4つのコートに分かれて競技の部の各部門（本戦）が展開された。国内予選を勝ち抜いた日本の各チームは、ここで世界各国の出場チームに交じって技を競い合った。

2ラウンドは、一般男女有段の部、一般男子三段の部、一般男子二段の部、一般男子級拳士の部。3ラウンドは、一般女子三段以上の部、一般女子二段の部、一般女子初段の部、一般女子級拳士の部。最終の4ラウンドは、一般団体の部、一般男子四段以上の部、一般男子初段の部、一般男女級拳士の部が行われた。



一般団体=フィトリほか7名 (インドネシア)



一般女子二段=
村上・矢野 (日本)



一般女子初段=サリ・エカヤンティ (インドネシア)



一般男子初段=ロ・マツト・ムグラ (インドネシア)



一般女子級=ブレンダ・ブトリ (インドネシア)



一般男子級=ブラセチア・イクバル (インドネシア)



一般男女級拳士=野田・安田 (日本)

際立ち、インドネシアのペアが演武するたびに会場にどよめきが起きるほどであった。

結果も、一般男子四段以上、一般男子三段、一般男子二段、一般女子三段以上、一般女子二段、一般男子級拳士の各部門では日本が優勝し、一般男子初段、一般男子級拳士、一般女子初段、一般女子級拳士、一般男女有段、一般団体の各部門ではインドネシアが優勝。また、それぞれ2位・3位も日本またはインドネシアと、両国が上位入賞を占めることとなった。

4ラウンド終了後、大阪府少林寺拳法連盟によって、今大会のテーマを表現した演武が披露された。

フィナーレでは、競技の部の入賞者にメダルと表彰状が贈られた。

次に、外国人出場者2人が壇上で大会に出場した感想を述べた。ポルトガルのクリスティーナ・マリアさんは「みんな非常に熱心だなと感じました。大会を通して、たくさんの方と友達になることができました」と喜びを語った。アメリカのパンカジ・ラストギさんは「このような素晴らしい場所で、世界中の仲間と

オープニング フィナーレ



宗由貴少林寺拳法世界連合会長



井上礼之大会会長



鎮魂行



大阪府少林寺拳法連盟によるテーマ演武

少林寺拳法の動きを取り入れたエクササイズで初めて出会う拳士同士が交流を深める



公認デモンストレーションチームによる模範演武



防具演武



家族演武



運用法



組演武

じ目的を持って精進できて感動しています。世界大会に出るのは初めてではありませんが、今回は、仲間を連れて来て、皆に同じ経験をしてもらうことができ嬉しく思います」と思いを述べた。

続いて、次回開催国がアメリカであることが発表された。そして、今大会の実行委員長である吉田秀樹大阪府連盟理事長に、名誉大会長・宗由貴少林寺拳法世界連合会長から感謝状が贈られた。

フィナーレの最後は、宗会長がスピーチで締めくくられた。

「私たちはなぜ少林寺拳法を修練するのでしょうか。多くの助けを必要とする方々のために、社会の平和と福祉のために、自信を身につける少林寺拳法であると思います。この大会に参加して、明日からまた大きな一歩を踏み出してください。次回2017年は、少林寺拳法創始70周年の年に当たります。アメリカでまたみなさんにお会いできることを楽しみにしています」。

世界の福祉に貢献することに思いを込めて全員で紙飛行機を飛ばし、和やかな雰囲気の中、閉会した。



少林寺拳法世界大会 in Osaka

少林寺拳法世界大会 in Osaka, Japan
SHORINJI KEMPO WORLD TAIKAI in OSAKA JAPAN

表彰の様子。左＝団体の部、右＝一般男子四段以上の部

【競技の部 大会結果】

部門	1位	2位	3位
一般男子四段以上	福家健司、麻田育弘 (日本)	采野秀俊、松本雅弘 (日本)	藤井孝清、矢野雄悟 (日本)
一般男子三段	白樺有弥、下山祥来 (日本)	山田茂人、杉本優太 (日本)	藤原健太、池田翔 (日本)
一般男子二段	金親優希、小森勇輝 (日本)	拝村勇輝、神田耀嘉 (日本)	奈良和記、谷口尊信 (日本)
一般男子初段	ローマット、ハジス・ムグラ (インドネシア)	田村龍、柳田佳祐 (日本)	伊藤輝、豊田竜大 (日本)
一般男子級拳士	アング・プラセチア、モハド・イクバル (インドネシア)	河内信喜、鈴木隼 (日本)	塩澤智宏、返田暢 (日本)
一般女子三段以上	稲川真理、畔蒜みく (日本)	樋口由衣子、樋口麻緒 (日本)	柴田加奈子、川崎公美子 (日本)
一般女子二段	村上菜実子、矢野紅音 (日本)	岡田理沙、石田叶恵 (日本)	丸山希美、川田美紗 (日本)
一般女子初段	ユリア・サリ、ヌル・インダー・エカヤンティ (インドネシア)	喜多ほの実、宮尾彩花 (日本)	北川絵里、白井美聡 (日本)
一般女子級拳士	アナスタシア・ブレンダ・M、アディンダ・プトリ (インドネシア)	後藤菜月、山本真優 (日本)	上原佑香、横谷マイア (日本)
一般男女有段	エリック・シャフプトラ、イスナ・スリヤニ (インドネシア)	ストノ、シタ・マリナ・C (インドネシア)	東野奈多、富田勇人 (日本)
一般男女級拳士	野田颯、安田香菜子 (日本)	勝田将揮、重田優妃 (日本)	ゲフィー・プシド、イルヴァン・ラムダニ (インドネシア)
一般団体	デリ・フィットリ、ソラヤ・アフィファー、ラーミヤンティ、スシ・スサンティ、オルヴァトリフェナ、リスマルタ・ナスチオン、アデ・イルマ、ノヴィア・ルシアンティ (インドネシア)	吉田明義、楠木修平、長田悠太郎、杉本健一、勝俣美帆、藤田ひとみ、坂本圭弘、小川有希江 (日本)	松田千明、門愛美、松本祐香、山根木智香子、坂実都世、橋本幸代、門大貴、西山亜由美 (日本)

好評発売中

『人、人、人、
すべては人の質にある……』
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に
直接手ほどきを受けた著者入魂の
武道教育論！

可能性の

種子たち

『魄』は生きるための生命力——
『魂』は人間を善に導く原動力——

魂魄(こころ)が健全に育てば、豊かな感性や
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ
る多くの知識を、智慧とすることができ、
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種
子の芽生えなのである。

—魂魄(こころ)を育てる—

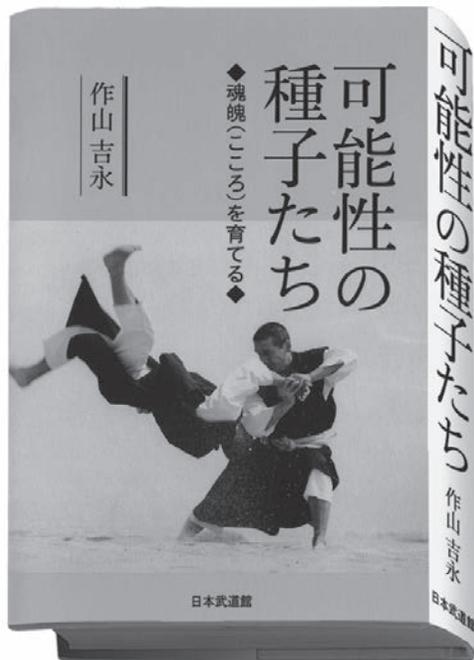
金剛禅総本山少林寺茨城高萩道院長

作山吉永 著

(四六判・上製・338頁)

主な目次

- 第1章 少林寺拳法 / 第2章 直心是道場 / 第3章 師事 /
- 第4章 マイ・アメリカ / 第5章 可能性の種子、芽吹く /
- 第6章 嵩山少林寺 / 第7章 魂魄(こころ)を育てる /
- 第8章 新しい扉を開く



編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

マンガ・武道のすすめ



(B5判・236頁)

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



少林寺拳法は4話を掲載！





なぎなたの体験で元立ちとなり指導する安倍昭恵首相夫人（左）と橋本久美子元首相夫人

外国大使夫人招待なぎなた演武交流会

なぎなたを通じて国際交流

外国大使夫人招待なぎなた演武交流会は、9月4日、日本武道館小道場で開かれた。当日は、アルバニア、イタリア、メキシコ、ペルーの大使夫人をはじめ、11カ国の大使館関係者約30名が集まった。

この交流演武会は、在日本国外国公館大使令夫人並びに大使館員とその家族を日本武道館に招待し、日本の伝統文化であるなぎなたの演武交流を通して、日本武道への理解を深め、関係諸国との友好親善に寄与することを目的として開催された。

演武会は定刻の午後1時半に始まった。白井日出男日本武道館理事長が「日本の伝統の技と精神をお楽しみいただきたいと思います。なお、なぎなたの体験の時間もあります。なぎなたの技は、ご家庭に帰ってご主人に使わないようにしていただきたい」とユーモアあふれる歓迎の挨拶をした。

続いて、松永光日本武道館会長が「今日は日本のなぎなた界を代表する女性たちが、各国の大使夫人の皆様方に、なぎなたの真髄をお見せるために、この演武会を開催いたし



団体基本



模範試合



全日本の形

ました。日本の伝統文化には、こんなに素晴らしいものがあるということとを、多くの方にお示ししていただけたらありがたいと思います」と主催者を代表して挨拶をした。

始めに、なぎなたの基本演武として、団体基本、全日本の形、模範試合が行われた。続いて、しかけ応じの演武を、橋本久美子元首相夫人と安倍昭恵首相夫人が行った。演武が終了と、大使夫人たち出席者一同から大きな拍手が送られた。

次に、参加者によるなぎなたの体験に移った。初めはなぎなたを手にして戸惑いの表情を浮かべていたが、素振りや、面打ちを体験すると、次第にこやかな表情となった。橋本久美子元首相夫人、安倍昭恵首相夫人も元立ちとなり、参加者たちとなぎなたを通じて交流が図られた。最後は天道流模範演武が行われた。

模範演武終了後は、参加者全員で記念撮影をし、三藤芳生日本武道館理事・事務局長が閉会の辞を述べ、演武交流会は終了となった。

参加者が退場する際には、松永会長、臼井理事長から龍村織の記念品が手渡された。



しかけ応じを演武する橋本久美子元首相夫人（左）、安倍昭恵首相夫人



なぎなた体験



参加者を見送る安倍昭恵首相夫人



天道流模範演武 受太刀・木村恭子宗家（左）、仕太刀・木村有里



松永会長、臼井理事長から参加者全員に記念品が渡された



全員で記念撮影

【演武者一覧】

橋本久美子元首相夫人

安倍昭恵首相夫人

木村恭子、木村有里、細井優子、

川村栄子、太布文子、和田久代、

竹中鎮子

演武解説 玉置捷子

「これからもなぎなたを女性の武道として広めていきたいと思えます」

「たまたまに上手くできたときは、満足感があります。」

「今日は初めて人前で演武したので緊張しました。」



安倍昭恵首相夫人

なぎなたという素晴らしい武道を
一人でも多くの人に伝えたい



私の歩んだ

なぎなたの道

元全日本なぎなた連盟顧問

徳永千代子 著

(四六判・上製・252頁)

戦前の薙刀術教員養成所に始まり、戦後の苦難の復興期を経て、現在の隆盛に至るまで、著者自身が歩んだなぎなたの道を振り返りながら、なぎなたの素晴らしさを謳い上げた会心作。なぎなた愛好者のみならず、武道指導者必読の一書。

◇第1章多感な少女時代 ◇第2章薙刀術教員養成所 ◇第3章卒業 ◇第4章なぎなた教師◇第5章全日本なぎなた連盟結成 ◇第6章財団法人化 ◇第7章体協加盟と国体参加 ◇第8章生涯続くなぎなたの道



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携書。



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版がついに刊行! 海外武道修業者・関係者におすすめしたい決定版。



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授
中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)

知っているようでよく説明できない武道のいろいろな文化・伝統的事柄を、古今の豊富な資料をもとに検証・解明していく。



贈る言葉

なぎなた範士からのメッセージ

月刊「武道」編集部 編

(四六判・上製・366頁)

全国各地のなぎなた範士25名が、後世のなぎなた人へ贈るメッセージ。近代なぎなたの史料ともなる各範士の歩みを綴った半生記集。



武道伝書を読む

天理大学教授
湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

『風姿花伝』、『兵法家伝書』、『五輪書』など、代表的な武道伝書をわかりやすく読み解き、読者のためになるメッセージを贈る。



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授
田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に直接インタビュー取材し、武道の良さ、素晴らしさをおもしろく、わかりやすく描く。



武道 子どもを育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー
菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

臨床心理学の立場から、子どもを育む武道の可能性、教育力に迫る。子どもをより良く伸ばすための知恵と珠玉の言葉を満載。



大先輩に聞く

月刊「武道」記者
田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

傘寿を超えた武道界の先達30名が贈る、後輩への熱きメッセージ。修行時代から現在までの足跡を辿る、後世に残す記録集。

平成 25 年度
全国警察柔道・
剣道選手権大会

警察柔道・剣道の日本一を決定！

柔道男子90kg級は加藤博剛（千葉）が2度目の優勝
剣道男子は網代忠勝（兵庫）が初優勝

平成25年度全国警察柔道・剣道選手権大会（主催：警察庁）は9月6日、日本武道館で行われた。

柔道男子90kg級では加藤博剛（千葉）が危なげない試合運びで2大会ぶり2度目の優勝を果たした。また、無差別では川北大祐（大阪）が、100kg級では古田秀州（神奈川）が、81kg級では武藤力也（神奈川）が、73kg級では藤本正寛（熊本）が、66kg級では黒瀬遼（警視庁）が、それぞれ初優勝を果たした。また、女子63kg以下級では山本美樹（兵庫）が2連覇を果たした。63kg超級では市橋寿々華（大阪）が初優勝を果たした。

剣道男子の部では網代忠勝（兵庫）が初優勝。女子の部は山本真理子が3連覇を達成した。



柔道男子90kg級決勝＝加藤（上）対中西



剣道男子決勝＝網代（右）対小谷

大会には全国都道府県警察と皇宮警察の代表、および所定の大会で一定以上の成績を収めて推薦された361名が出場し、柔道は男子が無差別と100kg級、90kg級、81kg級、73kg級、66kg級の5階級で、女子が63kg超級、63kg以下級の2階級で行われ、剣道は男女の部がそれぞれ行われた。

柔道は一試合5分、時間内に勝敗が決しない場合はゴールデンスコア方式の延長戦が3分間行われ、それでも決まらない場合は旗判定によって勝敗を決定した。剣道は時間無制限の一本勝負で行われた。

■柔道

▼男子

90kg級に加藤博剛（千葉）が登場し、順当に勝ち進むと決勝で中西努（神奈川）と対戦。加藤は技有を先に奪うと、中西の払腰を組み止めて、得意の寝技に持ち込み、横四方に抑え込んで合技一本で2大会ぶり2度目の優勝を飾った。

また、無差別では川北大祐（大阪）が決勝で加藤光将（愛知）を相手に、払腰、内股で技有を2つ奪って、嬉しい初優勝を遂げた。

◎90kg級優勝Ⅱ加藤博剛選手（千葉）

「優勝できてほっとしています。千

葉原警察の期待に応えたいと思っていました。今後、世界選手権やオリンピックで優勝したいです」

●無差別優勝 川北大祐選手(大阪)
「ウエイトトレーニングを繰り返し、ため、力がついてきたと実感しています。今日は自分の得意の柔道ができたので嬉しいです」

▼女子

63 kg 超級は7連覇中の萩原久美子(兵庫)が欠場。出場選手中最も重い市橋寿々華(大阪・123 kg)が決勝で山本志乃(広島)を横四方固で破り、初優勝とした。

●63 kg 超級優勝 市橋寿々華選手(大阪)
「嬉しいですね。今日は朝から緊張していました。目の前の試合に一戦一戦集中して臨みました。どの大会でも優勝できるようにしたいです」



柔道女子63kg超級決勝=市橋(右)対山本

■剣道

▼男子

網代忠勝(兵庫)と、畠中宏輔(警視庁)や木和田大起(大阪)を破った小谷明徳(千葉)が決勝に勝ち上がった。決勝、互いに積極果敢な技の応酬が展開された。開始5分、網代が鋭く飛び込んで面が決まり、網代が初のタイトルを手にした。

●優勝 網代忠勝選手(兵庫)

「小さい頃から剣道をやってきて、初めてタイトルが取れました。全日本選手権で優勝したいので、しっかりと稽古を積んで全力で臨みます」



剣道女子決勝=山本(左)対吉田

▼女子

この大会2連覇中の山本真理子(大阪)は今回も決勝に進出し、吉田佳世(北海道)と対戦した。15分過ぎ、山本の面が決まって一本を奪い、3連覇を果たした。

●優勝 山本真理子選手(大阪)

「明日、全日本女子選手権がある」

ので、それに向けて勢いをつけたいと思っていました」

【大会結果】

■柔道

◆男子

▽無差別 ①川北大祐(大阪) ②加藤光将(愛知) ③新井信吾(埼玉)、近間陽介(京都)

▽100 kg 級 ①古田秀州(神奈川) ②北見剛(警視庁) ③稲垣亮(三重)、金井宏樹(神奈川)

▽90 kg 級 ①加藤博剛(千葉) ②中西努(神奈川) ③長尾翔太(兵庫)、山本弘樹(皇宮)

▽81 kg 級 ①武藤力也(神奈川) ②小野瀬拓見(神奈川) ③内門卓也(大阪)、山下諒輔(静岡)

▽73 kg 級 ①藤本正寛(熊本) ②金岡真司(警視庁) ③新垣大悟(沖縄)、吉田優樹(兵庫)

▽女子

▽66 kg 級 ①黒瀬遼(警視庁) ②肥後翔大(京都) ③渡部朋之(神奈川)、三原弘士(警視庁)

◆女子

▽63 kg 超級 ①市橋寿々華(大阪) ②山本志乃(広島) ③川島巴瑠菜(北海道)、菊池舞美(警視庁)

▽63 kg 以下級 ①山本美樹(兵庫) ②津村美希(愛媛) ③鶴田侑里(大阪)、武智卓紀(大阪)

■剣道

▽男子 ①網代忠勝(兵庫) ②小谷明徳(千葉) ③野村洋介(神奈川)、木和田大起(大阪)

▽女子 ①山本真理子(大阪) ②吉田佳世(北海道) ③田山秋恵(大阪)、田中美妃(警視庁)



日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる 剣道修錬を集大成した 本格的剣道修行論

好評発売中!



（写真提供：『剣道時代』）

剣の清流

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠

敬藏 著

（四六判・上製・344頁）

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

(四六判・上製・564頁)



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

(四六判・上製・346頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

(四六判・上製・386頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

(四六判・上製・268頁)



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

(四六判・上製・274頁)

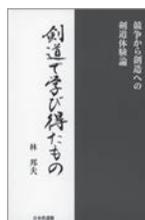


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

(四六判・上製・344頁)



剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

(四六判・上製・298頁)



組手団体一般男子の部決勝
中堅戦 偶成会・眞島（左）
の上段突きが決まる

和道会全国空手道競技大会

組手団体一般男子

偶成会高木道場が2連覇

第49回和道会全国空手道競技大会は、8月17日（千葉県浦安市運動公園総合体育館）、18日（日本武道館）の2日間にわたって開催された。大会には、小学1年生からシニア男子（50歳以上）まで、延べ2400名が出場し、試合は組手と形、42部門にわたって熱戦が繰り広げられた。

■組手団体戦

▽一般男子の部（5人制）

16チームが出場。決勝は偶成会高木道場と東京大学拳法会の昨年と同じ対戦となった。

先鋒戦、偶成会・塚田は東大・岩根から上段突きを3本連取。その後も上段突きを決め、岩根にポイントを取られることなく勝利し、連覇に向けて勢いをつける。次鋒戦、東大・柴山は、偶成会・木原から中段突き、上段突きのポイントを上げる。柴山はポイントを守り切って、勝利し試合を五分に戻す。中堅戦は、偶成会・眞島が東大・青木から上段突きを3本奪う。東大・青木は中段突きを返すが、その後、眞島に上段突きを決められ、偶成会が勝利し、連覇に王

手をかける。

副将戦 偶成会・重江対東大・西村。

重江が上段突きで先制すれば、西村も上段突きで返し、両者一進一退の攻防を見せるが、時間切れとなり引き分ける。大将戦、偶成会・本橋対東大・広川。先制したのは、上段突きを決めた広川。本橋も上段突きで返すも、広川に上段蹴りを決められる。その後、本橋は上段突きでポイントを返すが、時間終了となり広川が4―2で勝利。勝者数は2対2の同数だが、ポイント数の上回った偶成会が2連覇を達成した。

◎優勝Ⅱ

偶成会高木道場・高木秀穂師範

「勝利するのはもちろん、相手次第でポイントを稼ぐのが団体戦の鉄則です。そういった意味で、先鋒の塚田選手が4―0で勝利したのは大きかったと思います。選手それぞれが役目を果たした結果の優勝でした」

▽一般女子の部(3人制)

14チームが出場。決勝は、昨年優勝の立教大と東洋大学牛久高。前回と同じ顔合わせとなった。

先鋒戦、立教大・森は東洋大牛久高・丸石を8―0で降して先制。中

堅戦、立教大・矢野は東洋大牛久高・

福田を上段突きで攻め、5―0で勝利し、立教大の2連覇となった。

◎優勝Ⅱ立教大・児下真也監督

「選手が持っている力を出せたので良かったと思います。技の精度は高いので、技を決める前の詰め、間合いなどに気をつけて稽古に取り組みました。関東学生、全日本学生大会での優勝を狙っています」

▽都道府県対抗(5人制)先鋒・小学

生、次鋒・中学生、中堅・高校生、副将・一般女子、大将・一般男子)

9チームが出場。決勝は、宮城県

と東京都の対戦。先鋒戦は東京・ゴルバニが勝利し、次鋒戦は宮城・高橋の反則勝ちで、勝負は1―1となる。中堅戦、宮城・成海は、東京・佃に1ポイントも与えることなく勝利した。副将戦、宮城・武川対東京・吉貝。チームの勢いに乗る武川は、上段突きで先制する。その後も武川はポイントを重ね、7―0で勝利し、宮城県の初優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ宮城県・菊田輝夫監督

「高橋の反則勝ちで、流れが変わったと思います。実力は互角でしたが、優勝できて嬉しいです」

■組手個人戦

▽一般男子の部

62名が参加。決勝は西村洋輝(東京大)と岡崎耕太(岡山)。まずは、西村が上段突きを決めて先制。勢いに乗った西村の上段蹴り、上段突きと技が決まる。岡崎も果敢に攻めるもポイントが奪えず、最後は西村が上段蹴りを決めて9―0で勝利し、初優勝を遂げた。

◎優勝Ⅱ西村洋輝選手(東京大)

「優勝できて嬉しいです。社会人な



組手団体一般女子の部決勝
先鋒戦=立教大・森(左)対東洋大牛久高・丸石



組手団体都道府県対抗の部決勝
副将戦=宮城・武川(右)対東京・吉貝

のでなかなか稽古する時間も取れないのですが、一カ月前からしつかりと稽古時間を作って調整できたのが良かったと思います」

▽一般女子の部

36名が参加。決勝は、矢野朱美と吉貝美里の立教大同士の対戦となった。

積極的に攻める矢野は、開始早々に上段突きを決めて先制。勢いに乗る矢野は、その後も上段突きを2つ



組手個人一般男子の部決勝Ⅱ西村（東京大）対岡崎（岡山）。西村（右）の上段突きが決まる

重ねて試合の流れを掴む。吉貝も上段突き、中段突きで返すが、矢野はその後ポイントを奪い、時間となった。結果、矢野が嬉しい2連覇を果たした。

◎優勝Ⅱ矢野朱美選手（立教大）

「昨日の予選よりはよい内容だったと思います。手の内を知る相手なのでやりにくかったのですが、自分のペースを崩さないようにと思い、試合に臨みました」



組手個人一般女子の部決勝Ⅱ矢野（立教大）対吉貝（立教大）。矢野（右）が中段突きで攻める



形個人戦一般男子の部
優勝＝伊藤祥太（チントウ）



形個人戦一般女子の部
優勝＝岩本衣美里（チントウ）

■形個人戦

▽一般男子の部

39名が参加。決勝は伊藤祥太（福井）と湯田浩成（東京農業大）の対戦となった。伊藤はチントウ、湯田はバッサイをそれぞれ演武した。判定の結果、3―2で伊藤が初優勝に

輝いた。

◎優勝Ⅱ伊藤祥太選手（福井）

「感無量です。一般の部に初出場優勝できたことは、高校生の時に優勝した時よりも嬉しいですね」

▽一般女子の部

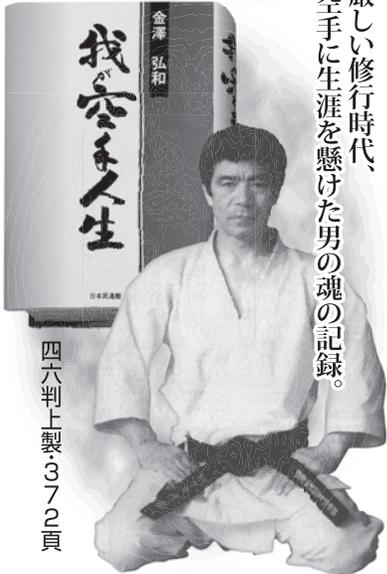
23名が参加。決勝は岩本衣美里（ク

我が空手人生

国際松濤館空手道連盟館長

金澤 弘和 著

生いたちから父母の教え、「からて」との出合い、拓殖大学空手部に始まる厳しい修行時代、全日本制覇、海外への普及、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、空手に生涯を懸けた男の魂の記録。



四六判上製・372頁

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
http://www.nipponbudokan.or.jp

心技体 人を育てる 総合誌
月刊 **武道**



リンコーポレーション」と小河咲月（愛知大）の対戦となった。岩本はチントウ、小河はニーサーシーをそれぞれ演武した。判定の結果4-1で岩本が勝利し、4連覇に輝いた。

◎優勝Ⅱ岩本衣美里選手

（クリンコーポレーション）

「普段の稽古では、スピード、切れを意識して稽古に励んでいます。決勝戦の開始時間が押していたので、上手く調整ができませんでしたが、そこは気持ちで乗り越えました」

【大会結果】（※優勝のみ）

■組手団体戦

▽都道府県対抗Ⅱ宮城県▽一般男子
Ⅱ偶成会高木道場▽大学生男子Ⅱ明治大学▽一般女子Ⅱ立教大学▽少年男子Ⅱはさま

■組手個人戦

▽一般男子有段Ⅱ西村洋輝（東京大）▽大学生男子有段Ⅱ藤村浩一（東海大）▽一般女子有段Ⅱ矢野朱美（立教大）▽シニア男子50歳以上Ⅱ Mohammad Bahoudi（イラン）
▽シニア男子40歳以上Ⅱ松嶋和久（杉浦錬成塾本部）▽シニア女子40歳以上Ⅱ齊藤師保（二道塾）▽一般男子有段Ⅱ寿崎凱人（北海道工業大）▽一般女子有段Ⅱ大橋港（立教

大）▽少年男子Ⅱ西村拳（拳誠塾）

▽少年女子Ⅱ中川来望（浜松修学舎高校）▽中学男子Ⅱ上田涼翔（健空会）▽中学女子Ⅱ稲津紗輝（浜松修学舎中学校）▽小学6年男子Ⅱ小花大輝（越谷修道館）▽小学6年女子

Ⅱ沖本貫志（岩国）▽シニア女子40歳以上Ⅱ石井恵（日立茂原）▽一般男子有段Ⅱ廣川義隆（昇政塾）▽一般女子有段Ⅱ杉村りつ子（茂原）▽少年男子Ⅱ渡辺山斗（岐刑）▽少年女子Ⅱ鈴木美晴（東海大学翔洋高）▽中学男子Ⅱ清水宗一郎（名空会研修センター）▽中学女子

Ⅱ野々村結実（岩倉）▽小学5年男子Ⅱ池田宗一郎（岐阜）▽小学5年女子Ⅱ宇井なづな（中島）▽小学4年男子Ⅱ戸塚峻志（翔空会）▽小学4年女子Ⅱ佐野里華（北方）▽小学3年男女Ⅱ矢吹晴奈（幸田）▽小学2年男女Ⅱ白田崇太郎（中京会）▽小学1年男女Ⅱ漆畑怜（千秋会鷺野）

Ⅱ赤岡万緒（岐刑）▽小学6年男女Ⅱ舟田葵（津）▽小学5年男女Ⅱ市川紗波（小牧）▽小学4年男女Ⅱ森岡未鈴（北方）▽小学3年男女Ⅱ加藤輝峻（岐刑）▽小学2年男女Ⅱ邊田花乃（白水修養会）▽小学1年男女

▽野々村結実（岩倉）▽小学5年男子Ⅱ池田宗一郎（岐阜）▽小学5年女子Ⅱ宇井なづな（中島）▽小学4年男子Ⅱ戸塚峻志（翔空会）▽小学4年女子Ⅱ佐野里華（北方）▽小学3年男女Ⅱ矢吹晴奈（幸田）▽小学2年男女Ⅱ白田崇太郎（中京会）▽小学1年男女Ⅱ漆畑怜（千秋会鷺野）

▽小学1年男女Ⅱ漆畑怜（千秋会鷺野）

▽一般男子有段Ⅱ伊藤祥太（福井）

▽小学1年男女

▽一般女子有段Ⅱ岩本衣美里（クリ

女Ⅱ高田瑛斗（昇政塾）

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(きんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光日本武道館会長



(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手からての精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤 弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長 金澤弘和著
父母の教え、「からて」との出合い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

(四六判・上製・372頁)

武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授 菅野 純 著

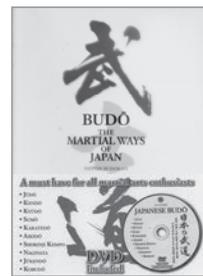


臨床心理学の立場から、子どもを育む武道の可能性、教育力に迫る。子どもをより良く伸ばすための知恵と珠玉の言葉を満載。

(四六判・上製・410頁)

BUDO: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう 著



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著
武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

月刊「武道」記者 田谷将俊 著



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)



第61回全日本学生弓道選手権大会

日本大学が14度目の全国制覇

第61回全日本学生弓道選手権大会（主催Ⅱ全日本学生弓道連盟）は8月20日～22日の3日間、日本武道館で開催された。

男子団体は日本大が決勝で関西学院大を破って4年ぶり14回目の優勝を、女子団体は東日本国際大が初優勝を果たした。

男子個人は土屋道知（桜美林大4年）が八寸6本目で制し、女子個人は弓立佳奈（同志社大4年）が八寸3本目で制して、それぞれ初優勝を遂げた。

大会は、初日に男子団体予選が、2日目に女子団体予選と男女団体決勝トーナメント3回戦までが、最終日に男女団体決勝トーナメント準決勝以降および男女個人決勝射詰が行われた。

団体戦はオープン参加で男子209校、女子222校が参加。予選的中上位24校が決勝トーナメントに進出。同中の場合は一手競射を行い、それでも決しない場合は決するまで一本競射を行った。

また、個人決勝射詰は全国各地区の予選を通過した男子523名、女子299

名が出場して争われた。男女ともに1、2本目は一手を持って入場し、皆中者のみ3本目に進出。その後は一本ずつ行い、6本目からは的を8寸的（直径約24cm）に変えて、優勝者が決まるまで繰り返された。なお、優勝決定以外の順位は遠近競射によって決せられた。

■男子団体

5人立、一人4射の合計20射の的中数で勝敗を競った。

予選は18中の関西学院、名古屋、法政の3校がトップ通過。全関東選手権、全国大学選抜優勝の日本も16中で順当に予選通過を果たした。

決勝トーナメントでは慶應義塾が2回戦で立命館を相手に、20射皆中を見せるなどして、会場を沸かせたが、準決勝で関西学院に16―14で敗れた。

逆のブロックからは日本が1回戦から18、18、20、18中の高的中で決勝進出を果たした。

決勝戦、行射の速度が早い関西学院は大前が前半一手を失中。3本目で大前、二的が連抜きして迎えた留矢は、中、落前が連抜き。14中で行

射を終えた。

対する日本は決勝の舞台に動じることなく的中を重ねていく。前半の

一手は皆中。その後、優勝を決める15本目を的中しても、ペースは変わらず、ついに皆中のまま大落へ。皆中での優勝に会場の期待が集まったが、大落・坂本貴紀の矢は無情にも



男子団体優勝＝日本大学



決勝は惜しくも19中

前に外れ、会場から声にならないため息が漏れたが、直後、大きな拍手が日本に送られた。

●優勝Ⅱ大和田正孝監督（日本）

今年は今関東、選抜と優勝。3大会連続優勝をかけて臨んだ大会で、見事優勝を成し遂げた監督の目には光るものがあった。

「昨年はいいい結果が出せなくて、苦しい一年でした。経験の少ない選手たちを使って、その子たちが経験を積んで、今年、花を咲かせてくれたので、本当嬉しいですね。」

練習の中でも4つ矢5回で100射98中を何回か出したりしたことや、全関東と選抜を勝てたことが自信になったんだと思います。大前の子は去年、1年生で全日に出て、4つ矢残念をやつて、予選落ちをしてるんですよ。そういう苦い経験を克服して、今年に繋がったことは、本人たちの努力ですね」

そして学生弓道界を牽引する存在として提言する。

「体配もできて、的中も乗せるというのが、先頭を走っている東京のI部校として、そして、日本大学としての使命だと思っています」

●優勝Ⅱ大落・坂本貴紀選手（日本）

「今は何も考えられないです。メンバーは全員、勝とうとか当てようと思つてなくて、とりあえずこの一試合を全力で、この一本を全力でという気持ちでやってきたのがこの結果に繋がったのだと思います。監督がよく、『階段は一気に上がれなくて、

一步一步いけば、結果がついてくる』とおっしゃるのですが、それのみんなが信じて、監督についていたからこそその結果だと思えます」

■女子団体

3人立、一人4射の合計12射の的中で勝敗を競った。予選は11中の



女子団体優勝＝東日本国際大学（大前から姉帯、一戸、大川）

甲南、早稲田、東日本国際の3校が
トップ通過を果たした。

四国は初戦で強豪・桜美林を9―8で破ると、2回戦は早稲田を相手に9―8で勝利。3回戦は皆中で突破した。準決勝はここまで、10、10、11中と高的中を維持してきた明治が相手だったが、明治は7中と自滅。四国が9中で決勝へ進んだ。

もう一方はトップ通過の東日本国際が初戦の2回戦から安定した中を重ね、準決勝では白鷗を相手に同中競射となるも、ここを皆中して決勝へ勝ち進んだ。

決勝は東日本国際対四国。前半一手を終えて5―4の僅差だったが、四国は留矢中で、大落が連抜きして万事休す。終わってみれば10―8で東日本国際が初優勝を決めた。

●優勝Ⅱ白石吉徳監督(東日本国際)

大学の所在地は福島県いわき市。福島市の原発から42kmしか離れておらず、原発から一番近い大学といわれている。

「あの震災があったからこそ、東北の力を見せつけたいというのがありました。震災以降、東北にはまだまだ元気が足りないんですよ。試合を



優勝した東日本国際大学

見ていても、前だったら……と思うこともあったり、ちよつとさみしいところもあるのですが、今回幸運にも得ることができたこの元気を持ち帰って、またみんなで東北を盛り上げていこうと思います」

●優勝Ⅱ大落・大川香純選手(東日本国際)

「楽しかったです。練習でも中つていたのでいけるかもという感じはありましたね。女子部員は4年生2人と1年生3人の5人しかいませんが全員一丸となれました。今後は追われる立場になりますけど、そこはまだまだ挑戦者の気持ちでやっていきたいと思います」

■男子個人決勝

523名が出場した。尺二的を5本的中し、八寸的まで残ったのは54名。八寸5本目が終わって、土屋道知(桜美林)と大崎令雄(愛媛)の2名が残った。6本目、先に引いた大崎が失中。注目が集まる中、土屋の矢は的をとらえ、見事に優勝を決めた。

●優勝Ⅱ土屋道知選手(桜美林)

「正直うれしいです。しかし、団体戦で負けてしまったので、気分よくは引けませんでした。ただ、気分が高ぶってなかつたので、冷静に自分

の射ができたのかと思います。

12月に事故を起こしてしまい、重度の捻挫で2カ月間、弓が引けなくて、全関東と選抜は出られませんでした。今まで選手でやってきた分、2つの大会で出られなかつたのが悔しくて、そこから頑張りました」

■女子個人決勝

299名が出場。八寸まで残ったのは、13名。1本目で通過したのが7名。2本目では弓立佳奈(同志社)と川勝彩音(大阪経済)に絞られ



男子個人優勝＝土屋道知選手(桜美林)



女子個人優勝＝弓立佳奈選手（同志社）

◆◆◆学生弓道豆知識◆◆◆

学生弓道には、全日本学生弓道選手権大会（以下、全日）と全日本学生弓道王座決定戦（以下、王座）の2つの全日本タイトルがある。また、他に全日本弓道連盟主催の全国大学弓道選抜大会がある。

全日はオープン大会なので、参加申し込みをすれば出場できるが、王座は全国9地区の代表および全日優勝校のみが出場する。その出場権は、各地区の1部リーグ戦を勝ち抜いた大学（東京、関西など）や、各地区の大会で優勝した大学（中四国、九州など）に与えられる。試合形式は男子が8人立12射（計96射）で、決勝は20射（計160射）。女子が3人立8射（計24射）で、決勝は12射（計36射）となっている。

4つ矢の集中力が求められる全日と長丁場を戦う持久力を求められる王座。違う側面を持つ2つの全日本大会が学生弓道にはあるのだ。

た。3本目、先に引いた川勝が外すと、弓立はきっちり詰めて、初優勝を手にした。

●優勝Ⅱ弓立佳奈選手（同志社）

「うれしいです。最近、調子が悪くて、今日はいつも通りやろうって思ってたんですけど、今年からコーチがつきましたが、女子は今季、京都学生選手権も関西学生選手権も予選落ちで、この大会は教えてくれたコーチのために引こうとみんな

なで言っていました。これで一つ返しはできましたが、やっぱり団体で勝ちたいです。今後の目標は〇×ばかりにこだわらず、コーチや応援してくださってる方、家族のために引きたいと思います」

【大会結果】

■団体

◇男子Ⅱ①日本（4年ぶり14度目）
②関西学院③東日本国際

◇女子Ⅱ①東日本国際（初優勝）②四国③明治

■個人

▽男子Ⅱ①土屋道知（桜美林）②大崎令雄（愛媛）③渡會和樹（東日本国際）④宮本慎也（岡山理科）

⑤堀和也（鳥取）⑥佐々木貴広（早稲田）⑦村田賢祐（慶應義塾）⑧渡邊和哉（近畿）⑨田口周平（東京）⑩新潟琢哉（日本）

▽女子Ⅱ①弓立佳奈（同志社）②川勝彩音（大阪経済）③垣田ゆき（明治）④浅野里江（京都橘）⑤西田葵（慶應義塾）⑥木村渚（慶應義塾）⑦山下知世（高知）⑧内野美咲（國學院）⑨柴田郁（大阪経済）⑩高橋莉映（法政）

BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

Edited by Nippon Budokan Edited and Translated by Alexander Bennett

This book introduces the long history of the Japanese martial arts, and includes a comprehensive timeline, glossary of terms, and an index. The federations representing the arts of Jūdō, Kendō, Kyūdō, Sumō, Karatedō, Aikidō, Shorinji Kempo, Naginata, and Jūkendō, as well as various other Budō-related societies and experts contributed to the content. A must have for all martial arts enthusiasts.



B5, Bound, DVD included

Retail: Bunkasha International Corporation
http://www.kendo-world.com E-mail: info@kendo-world.com
ご注文は全国の書店またはamazon, 日本武道館ホームページで

英語版
『日本の武道』
海外修業者に
おすすめの本!

好評発売中

国際武道大学教授

松尾牧則

(まつお まきのり) 著

弓道

その歴史と技法

弓矢の発生から日本における弓術の発達、技法の発展の歴史を追いながら概観し、また、世界の弓術の数々も紹介。現代の弓道の課題や射法についても踏み込んだ、弓道研究の第一線に立つ著者渾身の一書。巻末には、五百冊以上に及ぶ参考文献や、人名索引・事項索引を掲載。弓道のみならず、武道研究者必携の書。



四六判・上製・484 頁

目次

第一章 弓矢の発生と世界の弓術
弓矢の発生と性能向上の工夫／世界の弓矢と射法／W T A F にみる世界の弓術

第二章 日本の弓矢と弓術
日本の弓矢の特性——初期の弓矢／日本弓の変遷と特徴ある形状／日本の矢と弓矢関連器具／レクリエーション、儀式としての弓術／歩射と騎射／弓矢の誉

第三章 弓術流派と目的に応じた射術
武術の分化と伝達様式の整備／日置弾正と勸進的の流行／日置弾正正次の肖像と技法／弓術諸流派の技法と伝承／大和流弓術とその伝達様式／三十三間堂通し矢の誉——堂射の隆盛と弓具・技法の工夫／「五射六科」五射の実践／「五射六科」六科の教養／弓術稽古の意義と心得

第四章 弓術から弓道へ
弓術の衰退と命脈——明治時代の弓術／「弓術」から「弓道」へ——大正と昭和初期の弓術／昭和初期の戦中の弓道／戦後の弓道復活と連盟組織

第五章 現代の弓道と将来展望
現在の弓道連盟と競技・審査／新素材の弓具／弓具・服装・施設／学校教育における弓道／現代弓道の体系化された技法
①／現代弓道の体系化された技法② 射法八節の要点／弓道——その将来展望と課題

参考文献・索引



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)

武道の全容をこの一冊に集大成！



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

『日本の武道』の英文版(DVD付)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道における礼法を小笠原流宗家が直々に指南



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)

武道をわかり易く描いた教養マンガ



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

希代の弓人阿波研造の人物伝



霊箭 阿波研造物語

小学校教諭

馬見塚昭久 著

(四六判・上製・320頁)

日本人が拠り所としてきた価値観を詳説



日本の元徳

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・334頁)

『五輪書』などの代表的な武道伝書を詳解



武道伝書を読む

天理大学教授

湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

著者の半生をたどり、弓道の魅力に迫る



弓道 その魅力

山口大学名誉教授

岡村豊太郎 著

(四六判・上製・272頁)

子どもを育む武道の教育力を詳説



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

武道の文化的・伝統的な事柄を解明



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



国際オリンピック委員会第125次総会

2020年東京五輪開催決定

国際オリンピック委員会（IOC）の第125次総会が、9月7日（現地時間）、アルゼンチンのブエノスアイレスで開かれ、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決まった。

東京では昭和39年（1964）以来、56年ぶり2回目の開催。柔道競技は、前回と同じく日本武道館を会場にして行われる。

9月7日午前10時過ぎ（現地時間）、東京の最終プレゼンテーションの前に、高円宮妃久子殿下が挨拶に立ち、東日本大震災の復興を支援したスポーツ界に対する感謝と、オリンピック精神を実現し続けるIOCへの賞賛のお言葉を述べられた。



東京開催決定の瞬間

東京都主催「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市決定を迎える会」（東京商工会議所内「東商ホール」）にて。日本時間9月8日午前5時過ぎ、約1300名の招致支援者・関係者が歓喜した

プレゼンテーションは、パラリンピック走幅跳の佐藤真海選手に始まり、竹田恆和招致委員会理事長（日本オリンピック協会会長）、水野正人招致委員会副理事長、猪瀬直樹東京都知事、フリーアナウンサーの滝川クリステル氏、フェンシングの太田雄貴選手が順に登壇。各々が個性あるスピーチで東京開催を訴えた。

次に安倍晋三首相が、原発事故によるオリンピックへの影響はないこと、国を挙げてスポーツの振興に取り組んでいることを強調し、「スポーツの力によって、よりよい世界が実現されるよう、IOCと共に働くことを強く願います」と述べた。

最後に竹田理事長が、東京は確実に開催できる都市であり、日本は五輪の価値を共有し、守ることができる国であると強く訴え、プレゼンテーションを締めくくった。

その後、IOC委員から原発事故の影響について質問があったが、安倍首相は、汚染水の影響は一定の範囲内に収められており、それによる健康問題は全くないと答えた。

開催に立候補している都市は、東京のほか、イスタンブール（トルコ）



「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市決定を迎える会」にて
 上・固唾を飲んで結果を見守る招致関係者たち
 左上・ジャック・ロゲIOC会長が東京開催決定を宣する
 左・来場者全員で万歳三唱

IOC総会投票結果

立候補都市	1回目	2回目
東京	42	60
イスタンブール	26 (49)	36
マドリード	26 (45)	

※欠席・棄権は省略。括弧内は決選投票の結果

とマドリード（スペイン）。決定方法は、総会に出席した約100名のIOC委員が投票を行い、一つの都市の票が過半数に達した場合はその都市に。いずれの都市も過半数に達しなかった場合は、得票数最下位の都市が落選し（同票の場合は決選投票）、残りの2都市による最終投票が行われるというものである。

各都市のプレゼンテーションが終わり、午後4時に1回目の投票が行われた。過半数に達した都市はなかったものの、日本は42票でトップ。イスタンブールとマドリードが共に26票で、日本と競う都市を決める決戦投票が行われた。その結果、イスタンブールが49票で残り、最終投票へと続いた。結果はすぐには発表されず、約1時間の休憩がとられた。

午後5時過ぎ、結果を待ちわびる関係者を前に、ジャック・ロゲIOC会長が登場。立候補都市に感謝の言葉を述べた後、五輪マークが記された封筒の中身を、丁寧に取り出した。注目が集まる中、ロゲ会長は「TOKYO 2020」と記されたカードを会場に向けながら、落ち着いた声で東京開催決定を宣した。総会

の会場はもとより、東京都が設けたパブリックビューイングなど、国内各所に集まった関係者やスポーツ愛好家は、これに歓喜し、7年後に催される大会に早くも期待を寄せた。

東京は前回の招致にも名乗りを上げていたが、国内の支持率が伸びなかったこともあり落選した。しかし、今回はその反省を踏まえ、早くから各界に協力を求めるなどの積極的な取組をみせ、最終投票では60票を獲得して招致を成功させた。

東京では昭和39年（1964）以来、56年ぶり2回目の開催。2020年東京大会の会期は、7月24日～8月9日と、8月25日～9月6日（パラリンピック）の計30日間。柔道競技は、前回の東京大会と同様、武道の殿堂である日本武道館を会場に、7月25日～31日と、8月28日～30日の日程で行われる。

■関係者・アスリートのコメント

◎竹田恒和招致委員会理事長
 「92%に及ぶ皆様からのご支援が私たちの招致活動の支えになりました。記憶に残る大会を開催するべく、今後一層努力してまいります」



9月8日午前10時（日本時間）から、東京都本庁舎都民広場にて東京都主催の「2020年オリンピック・パラリンピック東京開催決定報告会」が催され、約3000人の都民らが集まった。会の終わりには来場者約600人が「THANK YOU（ありがとう）」の人文字を作り、招致活動支援者に感謝の気持ちを表した

◎猪瀬直樹東京都知事

「『平和でよりよい世界の実現』を目指し、世界中にオリンピック・パラリンピックムーブメントを拡げていきます。アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる環境を用意し、世界中から日本を訪れるお客様に素晴らしいおもてなしを提供したいと思います」

◎小倉和夫招致委員会評議会議事総長
「震災から復興しようとする力とスポーツの持つ力を、表裏一体の形で世界に訴えることができました。オリンピックの将来のあり方を示す大会にしたいです」

◎三浦雄一郎氏

東京都主催の開催都市決定を迎える会に、プロアスリートとしてゲスト出演した。

ト出演した。

「東京五輪開催決定は、日本人に大きなエネルギーを与えるでしょう。私も元気を出して、8千メートルのスキー滑降を目指します」

◎三宅宏実招致アンバサダー（ウエイトリフティング）
「子供たちの夢が大きく広がると感じました。出場したいという子も出てくると思うので、楽しみです」

◎土田和歌子招致アンバサダー（車いす陸上）
「これを機に障害者スポーツをもっと応援してほしいです。生の五輪の迫力を、皆さんに伝えたいです」

◎吉田沙保里招致アンバサダー（レスリング）
「開催が決定したときは、涙が出ました。現役を続けて、出場できるよう頑張ります」

◎田辺陽子氏（柔道）
「前回の東京オリンピックから、男子の柔道競技が始まりました。今度は男女共に日本武道館で試合ができることになり、とても嬉しいです。これにより、スポーツを通じた教育がより発展してほしいし、そのため貢献をしていきたいと思っています」



東京開催決定の号外を求める人々（東京都本庁舎都民広場にて）

好評発売中



スポーツドクター **辻 秀一** 著
 四六判・上製・248 ページ

武道やスポーツは「医療である、芸術である、コミュニケーションである、教育である」とする筆者が、指導者のために書いた良きハンドブック。ぜひ、ご一読を。



ほんとうの価値の伝え方

武道スポーツの真髄

主な目次

- 第1章 「文武両道」の人間教育
- 第2章 真剣勝負を楽しみ、人間的成長を図る
- 第3章 「セルフイメージ」という心のエネルギー
- 第4章 トップアスリートに学ぶ「社会力」
- 第5章 たかが目標、されど目標
- 第6章 「武士道書」に学ぶ
- 第7章 子どもたちの「社会力」を育てる
- 第8章 「オンリーワン」の子どもを育てる

編集・発行 **日本武道館**

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
 日本武道館出版広報課
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147
 FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

(翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット)

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武士道に学ぶ

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・344頁)



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



<増補版>

私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

(四六判・上製・326頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道

過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

(四六判・上製・274頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

(四六判・上製・220頁)